

持続可能な開発目標 (SDGs) と林業の関わり

2015年9月開催の国連サミットにおいて、私たち自身とこれから先の世代が豊かに安心して暮らせる未来が続くために、いま私たちがやらなければいけないこととして17個の持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals (SDGs)」が採択されました。

林業は、全17の目標のうち、適切な森林整備を行うことにより **目標15「陸の豊かさを守ろう」** に貢献し、持続可能な森林経営の下で生産された木材の利用は **目標12「つくる責任つかう責任」** に、また、再生可能エネルギーとして注目される木質バイオマス利用は **目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」** に、そして、森の大切さを伝える森林環境教育は **目標4「質の高い教育をみんなに」** に該当します。

我が国の森林の循環利用とSDGsとの関係



(令和2年度版森林・林業白書より一部引用)

豊かな森林を守り育て、森林を利用することは、様々なSDGsの達成目標に貢献します。

そこから生み出される恵みを森林整備・保全に還元させることにより **目標15「陸の豊かさを守ろう」** が推進され、さらなる持続可能な循環が生まれます。

JForest 森林組合綱領

私たち森林組合のめざすもの

私たち森林組合の組合員・役職員は、次のことを宣誓し、責任を持って行動します。

- 一、森林(もり)の恵みに感謝し、地球環境保全のため、豊かな森林(もり)を未来に引き継ごう。
- 一、森林(もり)を守り育て、林業と山村を活性化しよう。
- 一、JForest森林組合への積極的な参加によって、協同の力を発揮しよう。
- 一、自主・自立、民主的運営を基本に、開かれた組合経営を目指そう。
- 一、協同の理念と誇りある仕事を通じて、共に生きがいを追おう。

道内森林組合の所在地や
お問い合わせ先は
こちらから検索できます



北海道森林組合連合会
ホームページ <http://www.doshinren.or.jp/>



北海道森林組合連合会は、
北海道の森林を育て、
道産木材製品を普及する
ためのさまざまな取組み
を行っています。

写真：道産木材を使用した
本部事務所
(令和元年8月竣工)

北海道森林組合連合会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西19丁目1番地9
TEL 011-621-4293
FAX 011-644-3707



このパンフレットは間伐材を使用しています。

(令和3年10月発行)



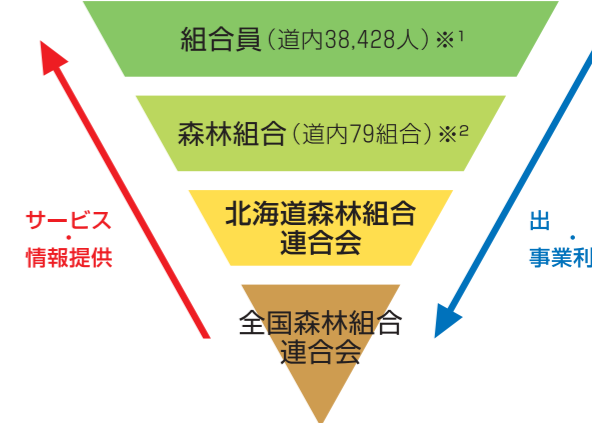
森林組合ってなに？

日本は国土の約7割が森林で、全国各地にその所有者がいます。森林所有者が組合員となり、森林組合法によって設立された協同組合、それが「森林組合」です。森林組合は大きな2つの目的のもと、植林をして木々を育て、木材を生産することで林業の発展を目指しています。

森林組合の2つの目的

- 森林所有者の経済的社会的地位の向上
- 森林の保続培養及び森林生産力の増進

森林組合系統は逆ピラミッド型の組織です



※1 北海道水産林務部林務局林業木材課「森林組合現況調査一覧(令和元年度)」より引用
※2 令和3年10月1日現在

森林は様々な生き物を育み、酸素や水をもたらす、土砂災害を防いでくれるほか、CO₂を吸収して地球温暖化も防ぎます。森林組合は、この公益的な森林の機能を守ることに加え、森林の持続的な整備を通じて地域住民の皆様の生活環境を保全し、地域産業の振興発展にも寄与しています。

協同組合とは、共通の目的をもった人たちがその目的を実現するために、出資金を出し合って自発的に設立し、運営されている相互扶助組織です。また、同じ第一次産業の協同組合である農業協同組合(JA)・漁業協同組合(JF)は、それぞれ農業・漁業を営む者が組合員であるのに対し、森林組合は森林を所有する者が組合員であるのが特徴です。

施業提案

森林施業プランナーは、森林の施業及び保護に関する森林経営計画を作成し、森林施業の内容や事業の収支を示した施業提案書を森林所有者へ提示して施業を受託しています。



森林保険



森林保険は、森林の火災や気象災、噴火災による損害があっても、森林所有者が将来もらえるはずの収入を総合的に補償する唯一のセーフティネットです。森林組合では加入・相談の受付をしています。

地域貢献

地元で森林の大切さを伝える森林教室の開催や植樹イベントでの植樹指導などを行っているほか、保育施設等への木製遊具の寄贈活動にも取り組んでいます。



木育



木育とは『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取り組みです。将来を担う子どもたちが木を身近に感じ、木や森との関わりを考えられる豊かな心を育むことを目指します。

道内森林組合の主な仕事

植付

カラマツやトドマツの苗を植えます。春または秋に植えるのが一般的です。



地拵え

木を切った跡地から切り株等を取り除き、苗木を植える準備を行います。



除伐・保育間伐

植えた苗木の生育を妨げる侵入木、混みすぎた木を切ります。



下刈り

周りの雑草木が苗木の生育を妨げないように数年間草刈りを行います。



春 夏 冬 秋

調査

葉が落ちて、地形や森林全体を見やすい冬期に山林の調査を行います。



主伐

長年大きく育てて切り頃になった木を倒し、枝をはらい適当な長さに切って販売します。



枝打ち・つる切り

節のない良質な木に育てるため、下枝を切り、つるを除きます。



間伐

木を大きく育てるために、混みすぎた木を間引きして販売します。



林業資材

苗木やナタ、巻尺などの林業用資材をはじめ、ねずみ駆除剤などの林業用薬剤、チェーンソーや雑草の刈払機などの林業用機械等、林業に必要な事業物資や組合員の生活のための生活資材など、様々な商品を取扱っています。



高性能林業機械



フェラーバンチャー

労働生産性の向上と安全な作業のために高性能林業機械の導入が少しずつ進んでいます。



ハーベスター



フォワーダー

加工

山から切り出された丸太は、森林組合等の製材工場で建築材などの製材品に加工され、全国に出荷されます。製材加工の際に発生するおがくずや木の皮は、家畜の飼料や木質バイオマス発電の燃料などに利用されています。

